



コタンメール 第40号

平成 21 年 2 月 15 日 発行



チセコッエノミ（地鎮祭）開催・チセ建設ちやくちやく

ポロト湖畔に新しい伝統的家屋「チセ」ができつつあります。国が実施するイオル再生事業の一環として、体験交流などに活用される予定です。アイヌ民族博物館が受託して、ちやくちやくと建設が進んでいます。広さは3間×5間ほどになる予定です。

1月31日に、チセを建てるためのお祈りを行いました。この祈りをチセコッエノミ「地鎮祭」と呼びます。土地を使ったり、材木を切ったりするので、カムイへの伺いをたてるのです。

地鎮祭の終了後、建設に取り掛かりました。骨組ができあがり、これから壁と屋根をふく作業に入ります。3月中に完成し、4月18日にチセノミ「新築祝い」を行う予定です。建設作業、新築祝いともに見学は自由です。（きたはら じろうた）



デジタル絵本エヌカラヤ？（デジタル絵本見た？）

当館では、古い時代の生活を記憶している方々のお話を、音声や映像を記録してきました。例えば、植物の使い方、狩・漁の仕方、冠婚葬祭の際の祈り言葉や式次第、そしてアイヌ語による歌や物語です。このうちの一部を「伝承記録シリーズ」として公開しています。



2007年度、文部科学省の「子ども夢基金」による補助金を受け、アイヌ語等の音声資料を整理・保存作業をするとともに、子ども向けのデジタル絵本を制作する作業を行いました。

この成果として、絵本7篇、物語92篇のあらすじ、154篇のサンプル音声を公開しています。また、アイヌ語のなぞなぞや歌、楽器ムックルを使った「雨の音」「おはやし」などの演奏も公開しました。当館のホームページで視聴することができます。ご家庭や学校などで、語りの世界を楽しんでください。（きたはら じろうた）



イオマンテー飼いきマ「タロー」の送り儀礼

昨年の大晦日も近づいた12月28日、当館で飼っていた雄熊のタローが老衰のため死亡したことから、アイヌプリでの熊の送り儀礼を1月16日～19日の4日間にわたって実施しました。

アイヌ民族に伝えられる「熊の霊送り」の儀礼には、狩猟で仕留めた成獣を送るもの、成獣を仕留めた際に残された仔熊を里へ連れ帰り、1～2年飼育した後、盛大な儀式を執り行って親元である神の国に送る儀式があります。昭和53(1978)年に雄冬で生まれ、この30年間をアイヌ民族博物館で過ごしたタローはどちらのケースにもあてはまらないのですが、現在の博物館職員の誰よりも長くこの博物館に暮らしたタローに礼を尽くす意味も含め、飼いきマの送り儀礼に近い形で実施することにしました。

送り儀礼までの10日間はイナウやヘペライ、キケウシパスイ等の祭具の製作から酒造りやシト等の供物作りと準備に追われましたが、技術的にも精神的にも学ぶことの多いタローの送り儀礼でした。

(むらき みゆき)



行事案内

しらおいアイヌ文化フェスティバル 平成21年3月14日開催

場所：白老町コミュニティセンター大講堂

開場：10時30分 開始：11時

参加無料 ※抽選で民芸品プレゼント

内容：カムイノミ、知里幸恵『アイヌ神謡集』朗読（NHK 村上里和アナウンサー）、
芸能・工芸紹介、アイヌレブルズ公演、沖縄琉球舞踊、伝統食体験など

メタボックルに聞こう

Q：メタボックルさん、イランカラプテ。お名前の由来はなんですか。

メ：見ての通りネルウェネ。

Q：おひげに字が書いてありますね。これ何ですか。

メ：イペルスイ。アイヌ語で「お腹がすいた」ネルウェネ。

勉強してたり、仕事してたりしてお腹が空けるでしょう。

そういうときにクイペルスイって使ってみてちょうだい。

Q：ありがとうございました。イヤイライケレ。



メタボックル：身長50mm 腹囲？ 出身？ 年齢？
行きつけスポット 試食コーナー